

登録コード	A3595473	開講年度	2026						
授業科目	専攻研究				担当教員	安江 恒			
英文授業名	Thesis Research								
単位数	5	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	4年生		
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考	教員内線電話:2368（研究室名：森林環境学）
信大コンピテンシー	該当								
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】				
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ								
	【2022年度以前加わむ対象】専門的な知識や研究能力を修得している				・実験，解析を通して得られた知見を地球的な環境問題と関連づけて考えるとともに今後の問題解決に対する提言ができる				
	【2022年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				・実験，解析を通して得られた知見を地球的な環境問題と関連づけて考えるとともに今後の問題解決に対する提言ができる				
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ								
	【2024年度以前加わむ対象】専門的な知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				・実験，解析を通して得られた知見を地球的な環境問題と関連づけて考えるとともに今後の問題解決に対する提言ができる				
	【2024年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				・実験，解析を通して得られた知見を地球的な環境問題と関連づけて考えるとともに今後の問題解決に対する提言ができる				
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生								
(3)全学横断特別教育プログラム									
(4)授業の概要	卒業研究課題に取り組み，測定，分析，考察を行うと共に，得られる結果を基に，適宜研究内容の修正や新たな課題設定を行う。								
(5)授業計画	専攻研究 において立案した研究計画に沿って，試料採取，実験，データ解析を進める。状況の変化に応じて，内容の見直しを適宜行う。 研究の実施に当たって必要となる知識を得るための論文の精読およびその内容の紹介。 研究の進行状況の報告を行う。 最終回到授業アンケートを実施します。								
(6)自主学習の指針	調査研究内容に関連する文献等を整理し，自ら得た内容との比較検討を行う。								
(7)成績評価の基準	調査実験内容，研究経過報告の内容について，当初立てた計画に対する進行および予見できなかった部分への対応の状態により判断する。								
(8)事前事後学習の内容	調査研究の準備とデータ解析。内容に関連する文献等の整理。								
(9)テストやレポートの予定	研究計画および経過報告								
(10)成績評価の方法	調査実験内容，研究経過報告の内容によって評価する。								
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時								
(12)履修上の注意									
【教科書】	特に指定しない								
【参考書】	奈良国立文化財研究所編「年輪に歴史を読む - 日本における古年輪学の成立」同朋舎出版 深沢和三「樹体の解剖 - しくみから働きを探る - 」海青社 F.H. Schweingruber 「Tree Rings」D. Reidel Publishing 日本木材学会編 2005. 木のびっくり話100，講談社 中村太土，小池孝良編，森林の科学-森林生態系科学入門-，朝倉書店								